

セト ボネ



SETAGAYA VOLUNTEER NETWORK

世田谷発！ ボランティア生活発見マガジン
<https://www.otagaisama.or.jp/>

2022.4 No.216

今月のトピック

特集●

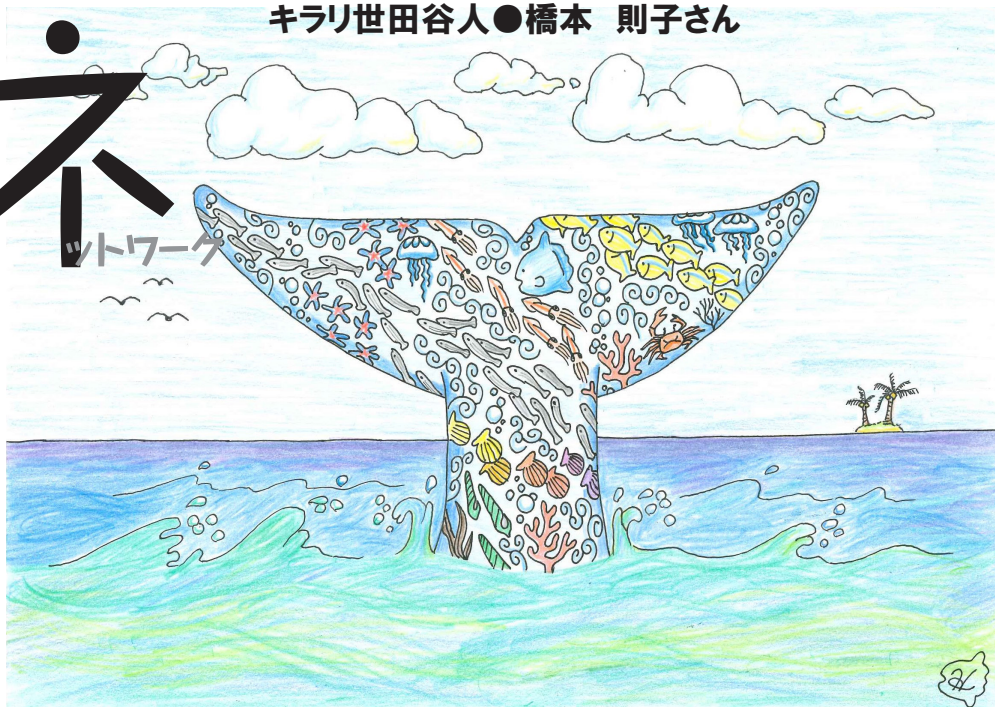
NPO & 市民活動応援セミナー報告

実践者とコミュニティワーカー・西川 正さんに学ぶ

「コロナ禍だからやってみた」～0歳児親子のための子育て集会所

まちの市民力！ ●まな BASE

キラリ世田谷人 ●橋本 則子さん



イラストレーション ● 本田 みーお

お魚大好きな世田谷区民です。上の絵は日本によく見るザトウクジラの尾です。

ヒラメさんの幼魚やガラスハゼさんなどの透けた魚が好きです。

●わたしの世田谷

世田谷生まれ。世田谷育ちの私は、まったりのんびりした雰囲気の世田谷が大好きです。

●特集 NPO&市民活動応援セミナー報告 実践者とコミュニティワーカー・西川正さんに学ぶ 「コロナ禍だからやってみた」0歳児親子のための子育て集会所



NPO 法人ハンスオン！埼玉代表理事
西川正さん



かみきた子育て集会所代表
佐子真未さん

▽当協会ならではの学びの場

～当事者の声を大事にすること

3月6日（日）世田谷区と世田谷ボランティア協会主催によるNPO&市民活動応援セミナーを開催しました。蔓延防止措置の影響で対面ではなくオンラインでの実施となりましたが、10代～70代まで幅広い方にご参加いただきました。オンラインでのセミナーは、一方的な情報伝達になりがちで、「自分の考えや想い」を伝え合うのは難しいですが、少人数グループで話す時間を多めに作るという工夫を重ね、ご参加くださった方、講師の方々、企画者も笑顔溢れる時間となりました。

本セミナーで毎回大切にしていることは、当協会だからその学びの場を作ることです。相談にく

る「当事者と共に創っていくこと」です。新たな参加者に喜ばれる可能性が高い学びの場を作るにはどうするか。そのヒントは、日頃の相談窓口にあると思います、相談を分析しながら「今必要とされている学びの場」を企画することを意識しています。

▽NPO&市民活動相談の現状

コロナ禍前、2019年度のNPO&市民活動相談件数は、年間37件。2020年度は167件と約4倍となり、2021年度2月末日時点では、241件と約6倍の相談対応をしています。

相談増加の要因は、コロナ禍であらゆる人の生活様式が変わる中、「時間ができた」こと。これまでの通勤&通学で使っていた時間がリモートワークの導入により、会社や学校に行かなくてよくなり、自分の生き方や働き方を見直す中、社会課題に目が向きやす

くなったこと。

最近3ヶ月で多かった相談は、「ニーズを掴みたいが難しい」というもの。仮説はあるけれど、具体的なニーズは掴んでいない。具体的なニーズを掴む突破口がほしい、という相談です。

そこで、今回は、当協会に相談に来てくださった笹子真未さんに

なぜ、子育て広場を始めようと思ったのか？

ニーズ	環境	自分の状態
SNSで見ていた 親たちの 疲れ、孤独、嘆き	✕ コロナ禍で 子育て関連施設 が軒並み閉所	✕ 今のタイミングで やってみたい という意欲・余裕

➡ ニーズ、環境、自分の状態すべてがかみ合ったのが2021年。
世田谷ボランティア協会に電話し、大垣内（かき）さんに
出会ったのが始まり。



先輩事例としての発表をお願いしました。「かみきた子育て集会所」は、まさにニーズを掴みながら検証を重ねていくプロセスが見事でした。そして、昨年度のセミナーで「またお話を聴きたい！」と大好評だったNPO法人ハンズオン！埼玉代表理事でコミュニティワーカーの西川正さんをお招きし、前半は事例紹介、後半は「NPO & 市民活動もやもや相談室」という構成にしました。

▽前半 事例・立ち上げ経緯

今ある困りごとに耳をすませば

IT企業で新規事業開発担当の笹子さんは、第二子の育児休業中に市民活動に初挑戦。子育てボランティア経験ゼロ&仲間ゼロからのスタート。「かみきた子育て集会所」を立ち上げた経緯は、コロナ禍で次々と子育て支援施設が閉所していく中で、親達から引き続き発信されるSNSでの悲痛な叫

び。「子どもとずっと一緒に息が詰まりそう。イライラが止まらない」「今日も叩いてしまった。自分はやめな親だ。疲れている」などなど。子育てで追い込まれているパパ・ママに息抜きをしてもらいたい。子どもの幸せは、子どもへの直接支援のみならず、子どもを取り巻く大人の心の余裕ができてこそ実現されるのではないか。そのために、第二子子育て中の今、余裕が生まれた自分だからこそ、ひと休みできる場所づくりをやりたい！それが活動動機でした。

はてなが山積！

さて、課題をどうする？

子育て拠点を運営するにあたって、はてなが山積み。まずは、なんとといっても「利用者に聴いてみないとはじまらない」と、Googleフォームを利用して無料でアンケートを作成。SNSで困っている当事者の声を収集。なんと

90人もの人達がアンケートに回答。「当事者が今何を感じているか・何を求めているか」更なるニーズをアンケート調査で確かめたという行動は、一見遠回りながら大事なポイントです。山積する課題に対して「今何をすべきか」を整理し優先順位をつける手がかりになっていました。そして、「期間限定」と、敢えて自分ができる範囲を限定する。「限定」という小さなスケールにすることも挑戦しやすくなるひと工夫でした。

当初思い描いていた

イメージからの変化

理想と現実の狭間を埋める

アンケートでは、「ひたすらぼーっとしたい」「休みたい。眠りたい」「ゆっくり本を読んだり雑誌を眺めたりしたい」というニーズを元に、漫画喫茶のように親は個室でのんびりできて、その間、子どもはオープンスペースで

スタッフが見守るスタイルにすればいいのではと考えていた笹子さん。

しかし、「子どもを預ける」という形にするとどうしても資格が必要となってしまう。どんな方法なら、「親が気楽に休める場所が作れるか」。色々な子育て拠点に足を運び、活動者の話を聞くなど参考事例を学びにいくことで、考えも変化しました。「お客さんと運営者」という形ではなく、「誰が運営者か区別ができないくらい皆で混ざりあい子どもを見守る」形へ変更。

ひと休みにきた親同士やボランティアなどその場にいるみんなが「子どもを見守り、子どものささやかな成長と変化を喜び合う」場を作り出すことに成功しました。実際に場を運営すると、「孤育て」で大人と話することに飢えていた利用者は、ぼーっとするよりも、他愛ない日常の話をすることが何よりの気晴らしになっていた

様子。これは当初の想像とは異なり、やってみたらこそわかることでした。スタート後も、ボランティアと利用者の声で場の運営は変わっていく。変幻自在さが、こういった活動の魅力だなぁ、としみじみ感じ入りました。

▽後半 NPO&市民活動

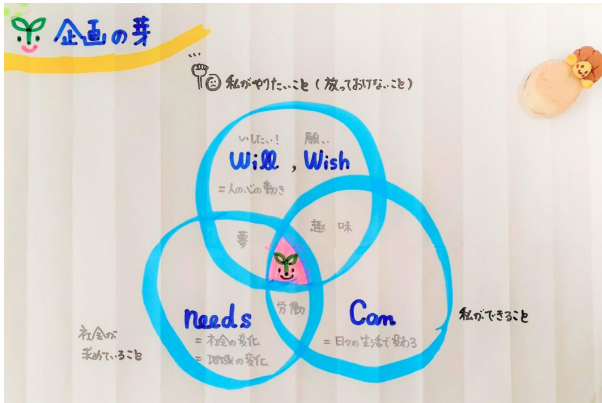
「運営もやもや相談道場」

後半は、前半の事例発表者笹子さんに加え、NPO法人ハンスオン！埼玉の理事西川正さんを道場主として、「運営もやもや相談道場」を開催。印象的だった相談を1つだけ共有します。今回の重要ポイント「ニーズを掴むにはどうしたらいいか？」という質問について、西川さんが鮮やかな解説をしてくださいました。

ニーズには2つの分類があり、1つ目は「いわゆるニーズ（目に見える困りごと・数えられるもの）」。2つ目は、「本人も気づいて

ていないニーズ（見えにくいけど、潜在的にあるもの）。

西川さんの実体験は、「中学生が教える高齢者の為のスマホ教室」。使い方もわからない中、スマホを持たざるを得なくなった高齢者と、家でスマホばかりやって怒られている中学生。その両者



のニーズをひきあわせて、問題解決をすれば丁度いいのではという発想。実施したところ、見事に双方にとって楽しい時間が生まれていたとのこと。雑談不足なコロナ禍において「おしゃべりできて楽しかった」という感想まで。

これは、後者の「本人も気づいていないけど、心の奥底でもっているニーズ」事例です。こういうニーズの拾い方もあるのかと、妙に納得。西川さんは、こういったニーズを「勘を頼りにやっている」とのこと。セミナー参加者アンケートでは、その言葉に励まされ「気づいた人がやっていくのが市民活動というのが腹落ちしました」という回答もありました。

▽市民活動の強みと面白さを 実感する学びの場

今回の学びの場に来て下さった方から、笹子さんと西川さんの行動力に感動したという声と共に、

「当事者と共に作るって難しくないな」「小さなことから進めていけばいいのだな」という意見がありました。それは、まさに今回伝えたかったこと。市民活動＝草の根活動は、ささやかなうごめきからはじまるもの。特別なヒーローではなく、「今、気になった私が自分のできる範囲で取り組んでみる。」それは、ありんこでも乗り越えられるハードルぐらいでいい。

市民活動ならではの魅力は、最大化にこだわらず自分と自団体にとつての「最適化」をめざすこと。再び参加者からの感想。「難しく考えず、先入観にとらわれず。シンプルに『やりたいこと・ニーズ・できること』が重なった場所を作ることが大事なのだなと思いました。」伝えたいことが伝わったと実感する嬉しい企画となりました。

（文責／世田谷ボランティア協会
大垣内 弘美）

～学びを通じた居場所づくり～
まな BASE (まなベース)



まちの 市民力!!

取材・市川 徹

●
街の中で地域やそこで暮らす
人たちと一緒に活動している
団体を紹介します



研修会実行委員会の様子

「まなBASE」は、船橋希望中学校を拠点として、学びを通じた居場所づくりを進める団体です。2020年、新型コロナウイルスの感染拡大で学校が休校になるなど、多くの子どもたちの日常が奪われました。子どもたちの学びの意欲と機会を守るという大きな目標のもと、活動をスタートさせました。今回はそのお一人で、同校のPTA役員でもあった宮内倫子さんにお話を伺いました。

学校説明会が中止になったことから、まずは受験生に志望校を選ぶための進路情報を提供することになりました。近隣の塾や高校の先生に協力いただいて受験や高校の状況についてオンラインで説明会

を開催。また、卒業生にもアンケートを実施、100名以上から回答を得ました。その中で、中学生には進路の相談ができる相手と学ぶ場所が必要と考えました。

そこで、中学生と年の近い大学生チューターのいる自習室を企画。大学生の子どもがいる知り合いや、船橋希望中学校の卒業生などに呼びかけ、地元でつながりのある大学生が25名ほど集まりました。学校の教室を借りて昨年は年間約50回実施、今も毎回30名ほどの生徒が参加しているそうです。

その後、大学生たちが小学校のICTサポーターなど活躍の場を広げていく中で、子どもたちへの接し方に悩むことがあるという話

を聞きました。そこで、教育現場で必要な知識を学ぶとともに交流の場になるような研修会を目指し、大学生たちと教育委員会事務局が一緒になって大学生のネットワーク「せたキャン」を立ち上げました。3月28日に大学生を中心に第1回研修会を企画、集合研修のほか、様々なプロジェクトのPRタイムを設けることにしています。

宮内さんは、地域の大学生が中学生に教えるモデルが他にも広がっていくと嬉しいと話します。一方で、今の大学生が卒業した後、続く大学生が出てくるかが悩みとのこと。この活動は、メンバーがPTA出身ということもあり、学校と地域の両方を繋ぐことができ、地域に強みと言えます。大学生も地域に関わるきっかけとして、出身校や地元つながりだとして、入りと感じました。ぜひ他の地域にも広がることを期待したいです。



障害児とともに
橋本 則子さん
はしもとのりこ

や が た 人 キラリ

世田谷を中心に活躍する
キラリと光る素敵な方がたを
ご紹介します
取材●星野 弥生

1941年生まれ、ということは80歳！ 長年勤めあげた教員としての仕事は終わっても、毎日あちこちを飛び歩く日々。教育、障害児、女性の権利など関心のある分野は多岐にわたります。

満州で生まれ、家族で引き揚げてきたのは5歳の時。日本軍が逃げた後に、ソ連が攻めてきて「幼な心に両親の緊張が伝わってきた。家族がバラバラになるかという『今生の別れ』を2回くらい経験しましたが、人の好意に助けられ、幸運がついて回りました。」と回想します。

引揚者住宅があった埼玉で小学生に。「先生が『戦時中は、間違っ

た教育をしてしまいました」と謝ったことを覚えています。5年生だった1952年にGHQによる占領が終了し、平和運動が起こってきました。

た。先生も『明日は学校に来ません』と勤評闘争などに熱心だった時代です。」と語ります。

教師になろうと思った背景にはそんな個人史があるのでしよう。学芸大学で国語を専攻。社会変革を志し、みんながデモに行っていました。児童文化研究会での活動が、今に到る道につながりました。ごく当たり前に教職員組合に入り、東村山の小学校に赴任。その後、親元を離れて大田区の教員に。世田谷に移って27年間、そのうち26年は障害児学級で。しゃべれない子、しゃべりっぱなしの子、歩くのが難しい子、牛乳と飴だけの子、ひとりひとりが個性的でし

た。10年間勤めた松沢小学校の『きはだ学級』では、『親から大事なことを教えてもらいました。親はわが子を守る力を持っています』。保護者会の時には普通学級の親が介助のボランティアをするなど、地域での人のつながりが出来ました。経堂小学校の『わかば学級』では、『優れたドキュメンタリー映画を観る会』を主宰する飯田光代さんの次男の担任に。『奈緒ちゃん』の上映に始まる伊勢真一さんの障害者に関わる映画の目線はとても優しいものでした。」と目を細めます。

ご両親が亡くなった後の自分の居場所として世田谷に引っ越してきました。障害児と健全児の交流をめざすインクルーシブ教育、女性の権利、『わんぱくクラブ』の放課後活動、『先天性四肢障害者父母の会』など、退職してこれまでに以上に忙しいけれど、「充実していますよ。都のパブコメにも投稿しています」人生、花まるですね！

ご相談ください

個別のサポートを必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、ボランティアの力を必要としている方と、ボランティアをつなぐ橋渡しをしています。新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、人と会ったり、集まったりすることが難しい状況ではありますが、困りごとを抱えていたり、どこに連絡したら問題を解決できるのかわからないという方は、電話でご相談ください。お話を聴きながら、どんなことができそうか、どんな解決方法がありそうか、一緒に考えます。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター
TEL 5712・5101

個別の学習支援を必要としている方、ご相談ください

世田谷ボランティア協会では、「発達障害や学習障害の傾向があったり、不登校の経験があり、学習の理解の面で苦労をしている」「勉強に向き合つことが苦手。学校の授業についていけない」などの相談を受け、小学生・高校生の個別の学習支援に取り組むボランティアを探して紹介しています。現在は、新型コロナウイルス感染症防止のため、オンラインでの学習支援にも対応しています。勉強への気持ちや、学ぶポイントなど、本人のペースや特徴を尊重してやっていきます。お気軽にご相談ください。

●問合せ／世田谷ボランティアセンター 担当 原口
TEL 5712・5101
haraguchi@otagaisama.or.jp

ボランティア求む

東 小学生の下校に付き添ってくれるボランティア募集

等々力にある児童福祉施設が、小学校低学年の子ども（3人）の下校に付き添ってくれるボランティアを探しています。朝はボランティアも一緒に登校しています。夕方は毎日施設の職員と帰っています。たくさんの方と関わって楽しい登下校になればと思うので、ご協力いただける方がいればうれしいです。

●日時／月～金曜日の17時過ぎ（または17時25分小学校）～18時10分頃まで
●場所／小学校から等々力の施設まで徒歩35分程度
●条件／交通費支給、施設にてボランティア保険に加入
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabori@otagaisama.or.jp

東 土曜日に遊んでくれるお兄さん・お姉さん募集

特別支援学校に通う小学2年生の男の子と、土曜日に一緒に遊んでくれるお兄さん・お姉さんを探しています。元気に外で遊ぶのが好きですが、学校のない土曜日は家で過ごすことが多く、寂しい思いをしています。一か月に1、2回でもいいので、外で思い切り体を動かしたり、散歩に連れて行ってくれるとうれしいです。お兄さん・お姉さんが大好きな、人懐っこい男の子です。

●日時／土曜日午後（月に1～2回）
●場所／自宅（等々力）や付近の公園など
●条件／大学生・30才くらいの方 交通費支給
●問合せ／玉川ボランティアビューロー
TEL 3707・3528
tamabori@otagaisama.or.jp

調理ボランティア募集

視覚障害のある80代の女性が週に一回、食事を作ってください方を募集しています。食材は生協が配達する物を使います。いくつかお料理を作って保存容器に入れてください。味付けは味見をして決めて頂ければ助かります。詳細はお問い合わせください。

- 日時／金、土、日のいずれか15時頃から
- 場所／船橋一丁目
- 条件／女性限定、交通費支給
- 問合せ／砧ボランティアアビュール準備室 担当 池田
- TEL 6411・4007
- kinutabora@otagaisama.or.jp

園芸活動の準備や活動のアシスタントをして頂ける方

高齢者施設で園芸療法の手法を用いて、主に室内で園芸活動を行っています。準備や活動のアシスタントをして頂ける方を募集しています。参加される高齢者の皆様と一緒に植物とふれあい楽しい時間を過ごしていただきたいです。

- 詳細はお問い合わせください。
- 日時／月曜13時～15時半
- 場所／深沢地区
- 交通／校新町駅徒歩13分
- 問合せ／日本園芸療法普及協会 担当 吉永
- niwa-yo@t07.itcom.net

中学2年生の男子中学生の学習支援をしてくれる女性を募集

苦手教科のうち、特に国語の学習支援を自宅をお願いできる方を募集しています。集中することが苦手なので、じっくり気長に教えてくれる人が良いです。電車や歴史(日本の戦国時代)が好きなので、ひと息つく時間には、そんな話もできると嬉しいですよ。

- 日時／月曜18時～1時間くらい
- 火・木は応相談
- 場所／自宅
- 交通／祖師ヶ谷大蔵徒歩11分
- 条件／女性
- 問合せ／砧ボランティアアビュール準備室 担当 久我
- TEL 6411・4007
- kinutabora@otagaisama.or.jp

有償スタッフ募集

プールと一緒に楽しく盛り上げられる方募集

休日の余暇活動としてのプールを一緒に楽しく盛り上げてくれる方を募集しています。泳法指導がメインではなく、個別自由時間(泳ぐ人、潜ったり浮かんだり水の感覚に浸る人、カロリー消費したい人、おしゃべりメインの人など、実に多様なニーズがあります)や、全体プログラム(ダンスやゲーム対抗ゲーム)などの時間を通して、休日の楽しく・リフレッシュできる時間を作っています。詳細はお問い合わせください。

- 日時／毎月2回(第2・4週の日曜) 9時10分～12時10分
- 場所／柏江あいとびあセンター4階 室内温水プール
- 交通／柏江駅徒歩10分
- 条件／女性 時給1100円＋交通費
- 問合せ／NPO法人えるぶ 担当 堀内
- TEL 3480・2808
- e-u-bu@nd.point.ne.jp

京 学校生活サポーター募集

中学1年生の女の子の学校生活をサポートしてくれる方を求めています。女の子は神経難病で人工呼吸器を使用し、大きめの車椅子で通学します。授業のサポート、トイレの介助など、女の子が充実した学校生活を送れるようお力添えください。短い言葉とタブレットを使ってコミュニケーションします。友だちとの交流も優しく見守ってください。別途、登下校のサポートをしてくれる人も募集します。まずはお

- 問い合わせください。
- 日時／月・金は16時まで、水は15時まで、土は12時までいずれも8時20分から
- 場所／千歳鳥山駅近辺の中学校
- 条件／女性、時給1170円＋交通費支給(10000円まで)
- 問合せ／砧ボランティアアビュール準備室 担当 久我
- TEL 6411・4007
- kinutabora@otagaisama.or.jp

おたがいさま

京王線沿線
小田急線沿線

世田谷線沿線
東急線沿線

講座・その他・募集

小 もつと語ろう不登校 Part 266

これまで26年にわたって、さまざまな方々の分かち合いの場となってきました。「自分だけではなかったんだ」と知るだけで心が軽くなります。初めての方も、お誘い合わせの上、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／4月9日（土）14時～
●場所／NPOフリースクール僕

小 代田ビューロー 「近所カフェ」「これも脳トレ」

代田ビューローで「こんにちは」を始めませんか？春になり身体の活動が活発になる季節です。ゲームやクイズをみんなで楽しみながら脳も活性化していきましょう。

●日時／4月16日（土）13時～16時
●場所／代田ボランティアビューロー1階
●参加費／100円（お茶代）

んち（代田4・32・17）または

ZOOM会議にて

●交通／梅ヶ丘駅徒歩10分

●条件／事前申し込み制

●問合せ／世田谷こどもいのちのネットワーク第3分科会「もつと語ろう不登校」担当 高橋 090・3905・8124
fshotru@yahoo.co.jp

●申込み／電話かメールで。メールは件名に、「4/16脳トレ」とし、本文にお名前と電話番号を明記して下さい。

※事前申し込み制です。

●問合せ／代田ボランティアビューロー

TEL 3419・4545
daitabou@otagai-sama.or.jp

ボランティアビューロー通信

梅丘ボランティアビューローでは、昨年7月から1階会議室の貸出をしています。スロープを設置し、トイレも改修し、車いすをご利用の方もアクセスしやすくなりました！

ご利用方法などは、梅丘ボランティアビューローにお問い合わせください。

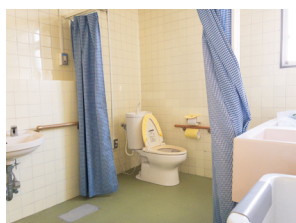
※扉の幅

ガラス戸（車いす出入口）

77センチ

トイレ

74センチ



上記掲載記事は3月19日時点の情報です。

変更となる場合がありますので、詳細は問合せ先へご確認ください。

講座『傾聴から人との関わり方を学ぶ』

2年にわたるコロナ禍によって精神的に不安になり自殺する方や、慣れないテレワークによるストレス、そして人間関係の悪化の悩みも増えています。末松渉先生に傾聴や交流分析を通して人間関係を学ぶ2回の講座です。

講師／末松渉氏（東京いのちの電話理事長・東京都スクールカウンセラー）

●日時／4月13日・5月11日（水）
13時～15時

小 子育て家庭・不登校に寄り添う 訪問ワーカー養成講座

子育て家庭や不登校のお子さんを支える訪問ワーカーとして活動してくださる方を募集しています。この講座では、子ども・若者・家族をめぐるさまざまな問題（虐待、不登校、いじめ、非行など）や、子どもと関わる上で大切なことについて、講義やグループワークを交えて考えていきます。活動に関心のある方は、どうぞお気軽にご参加ください。

●日時／2022年4月16日（土）

●場所／東京ボランティア・市民活動センター（セントラルプラザ10階）

●交通／JR・地下鉄飯田橋隣接

●参加費／1回1000円

●条件／事前申し込み制（4月8日×切）

●問合せ／NPO法人東京コミュニケーションカレッジ 担当 福井
TEL 3482・5777
<http://www.npotcc.jp>

13時半～16時半

●場所／喜多見地区会館（世田谷区喜多見8・23・23）

●交通／喜多見駅徒歩3分

●参加費／一般1000円
学生500円

●申込み／電話かHPから

●問合せ／NPO法人日本子どもソーシャルワーク協会
担当 波多野・阿知波

TEL 5727・2133
<http://www.jcsw.jp/>

せたがやチャイルドライン寄付・ご支援のお願い

①寄付・ご支援のお願い

せたがやチャイルドラインは、18歳までの子どもたちのための電話です。電話を受けるのは研修を受けたボランティアです。

通常はバザーや手づくり品の販売などで活動資金の一部を調達していますが、イベントの中止などにより、活動資金を確保することが難しくなっています。子どもをささえる活動を支援するため、ご寄付の協力をお願いいたします。

●郵便振替口座にお願いします。

●口座番号／

00150・8・279963

●加入者名／社会福祉法人世田谷ボランティア協会

※この口座への寄付は所得税の寄付金控除の対象にはなりません。通信欄に「寄付申込書せたがやチャイルドライン」とご記入ください。

②講義集の販売

受け手講座の内容をまとめた講義集『子どもに育ててもらったおとなたち』をメールでご注文いただけます。この講義集は受け手養成講座のテキストでもあり、せたがやチャイルドラインが大切にしている「子どもへのまなざし」がぎゅっと一冊にまとめられています。受け手講座に関心のある方や、子どもとのかかわりに悩む大人の方にもぜひ読んでいただきたい内容となっています。

●価格／1冊1000円（税込）。

支払いは後日お振込みとなります。（別途送料）

●注文方法／郵送ご希望の方は「名前・送付先住所・電話番号・冊数」をご記入のうえ、メールでお申し込みください。

●問合せ／せたがやチャイルドライン

TEL 5712・5101
childline@otagaishama.or.jp

世田谷ボランティア協会の活動・支援拠点

●「市民が主役」のボランティア活動の拠点●

- 世田谷ボランティアセンター 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5101 FAX (3410)3811
- 梅丘ボランティアビューロー 〒154-0022 梅丘1-8-9 TEL (3420)2520 FAX (3706)2854
- 代田ボランティアビューロー 〒155-0033 代田2-20-6 TEL (3419)4545 FAX (3412)3210
- 玉川ボランティアビューロー 〒158-0094 玉川2-1-15 TEL (3707)3528 FAX (3708)3058
- 砧ボランティアビューロー準備室 〒157-0066 成城6-3-10 TEL (6411)4007 FAX (6411)5888

●いのちを大切にすところ「ふらっと」&「with」です●

- ケアセンター「ふらっと」 〒154-0002 下馬2-20-14 TEL (5712)5105 FAX (3410)3813
- ケアセンター「with」 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋1F TEL (6805)4715 FAX (6805)4718

●くらしを紡ぎ、わかちあう「結」と「連」●

- ケア相談センター結(ゆい) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (5433)2830 FAX (6383)2156
- ケアステーション連(れん) 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6805)4716 FAX (6805)4718

●障がいにとまなう「困った!」を話せるところ●

- 地域障害者相談支援センター ぽーとせたがや 〒154-0002 下馬3-22-13サザン三軒茶屋2F TEL (6804)0405

●でんわだから、はなせるネ! 18さいまでのこどもせんようでんわ●

- せたがやチャイルドライン こどもせんようでんわ TEL (3412)4747 0120-99-7777(フリーダイヤル)
*事務局は世田谷ボランティアセンターにあります

拠点は今… 今月のおススメ!

◆センター&ビューローより

「ボランティアしたい」「誰かの手助けがほしい」「地域で何か活動したい」と思ったときは、世田谷ボランティアセンターやお近くのボランティアビューローに、遠慮なくご相談ください。

◆ふらっと& with より

一気に気温も上がり街中が色とりどりの景色が広がってきました。散歩をしていても身体力が抜けるようになりました。今が一番彩り鮮やかな季節ですので、存分に楽しみたいと思います。

◆結・連より

介助を必要としている人がいます! 世田谷を走り回っています。ヘルパー募集継続中です!

◆チャイルドラインより

4月は環境が変わる季節。子どもたちの気持ちが揺れやすい時期です。チャイルドラインは子どもたちの声に耳を傾けています。

編集後記

■新年度が始まり、生活環境が変わる人も多いと思います。私自身も少し変化がありますが、気負いせず、深呼吸して、楽しんでいこうと思います。みなさんにとっても素晴らしい年度の始まりになりますように。そして、2022年度の世田谷ボランティア協会をよろしく願いいたします!

■実は去年末に、世田谷ボランティアセンターにタヌキが出現したのですが、つい最近も見かけました。(近藤)

- 発行
社会福祉法人
世田谷ボランティア協会
〒154-0002
世田谷区下馬2-20-14
TEL 03-5712-5101
FAX 03-3410-3811
- E-MAIL
setabora@otagaisama.or.jp
- ホームページ
<https://www.otagaisama.or.jp/>
- 発行人
横山 康博

